

RQ2(喫煙率・タバコ消費量減少)で採用された12論文

No.	著者	発行年	受動喫煙防止法・条例	喫煙率・喫煙行動の変化
1	Prochaska JD,	2009	コロラド州フォートコリンズ市	喫煙率が3年間で16.8→11.5%に4.5%減少
2	Lemstra M,	2008	カナダ、サスカトゥーン市	喫煙率が2年間で24.1→18.2%に5.9%減少
3	Cesaroni G,	2008	イタリア	喫煙率が2年間で36.2→30.5%に6.1%減少
5	Gallus S,	2007	イタリア	喫煙率が2年間で26.2→24.3%に1.9%減少
7	Wakefield MA,	2008	オーストラリア、アデレード市	喫煙率が7年間で27.1→18.7%に8.4%減少
4	Hahn EJ,	2008	ケンタッキー州レキシントンファイアックス郡	喫煙率が規制前後で25.2→17.5%に8.2%減少
6	Braverman MT,	2007	ノルウェー	喫煙率が規制前後で50.8→47.2%に3.6%減少
8	Gallus S,	2006	イタリア	喫煙率が規制前後で2.3%減少 タバコ販売量が8.9%減少
9	Elton PJ,	2008	イングランド	規制前後で20本以上の喫煙者が27.6→21.8%
10	Fong GT,	2006	アイルランド	喫煙者の46%が禁煙を企図
11	Edwards R,	2008	ニュージーランド	クイットラインへの電話の増加
12	Wilson N,	2007	ニュージーランド	クイットラインへの電話の増加

Smoking prevalence
 Smoking prevalence in Saskatoon fell from 24.1% in 2003 (95% CI 20.4-27.7) to 18.2% in 2005 (95% CI 15.7-20.9).

2004年7月に受動喫煙防止法。施行前後の2年間で喫煙率が5.9%減少。

喫煙率は2~3年の短かい期間で2~8%(大半は4~8%)減少特に若い年齢層の禁煙を促進

法律の施行前後で喫煙率が8.2%減少

